



発行所 芦屋市精道町93
発行人 芦屋市長 内海 清六
編集人 山村 康
印刷所 オール出版印刷 K K
毎月1回5日発行定価2円

本市の推計人口

(1月1日現在)	
人口総数	53,601
男	26,033
女	27,568
世帯数	12,710

採択の請願の促進 第10回定例市会

まず最初に「山地開発の促進とそれに伴う市有地特売の推進を求むる請願書」が提出され、総務常任委員会に付託、検討されることになり、引き続き前回の第9回臨時市議会採択となった「ガス料金値上反対に関する請願」の件について、民生常任委員会の委員長から要請書を関係方面に提出し、先日の報告があり、全員異議なく了承しました。次に十日の本会議で総務常任委員会に付託されて、第八十九号議案の芦屋市電園使用条例の一部を改正する条例の制定については、総務常任委員長の報告と併せて採択を可決しました。

その後、市立芦屋病院に併設の伝染病棟新築に伴う南野建設株式会社との工事請負契約の締結については第九十七号議案、都市計画街路事業（川線拡張工事）施行に必要東山町七十五番地の一、山林

第三日（十月二十五日）午後二時から再開され、去る十月十日に決算特別委員会に付託、連日審査していた昭和三十三年度芦屋市各会計帳、歳出決算は委員長報告どおり認定されました。続いて総務常任委員会に付託されていた請願書について委員長報告があり、山地開発の促進とそれに伴う市有地特売の推進を求むる請願（下記）は採択され「山手町にヘルス

昭和三十三年度決算は
委員長報告どおり認定

センタールを設置することに反対することを兵庫県知事及び兵庫県建設審査会に申し入れ、その用地として芦屋打出共有地の一部を売却しないことを求める請願及び「芦屋打出共有地を財団法人松尾青英会に引き下げる土地売買契約締結議案の採択を中止し、売却の否決を求める請願」が不採択となり、昭和三十四年の市議会は、この第十回定例会をもって終了しました。

山地開発の促進と、それに関連する市有地特売の推進を求むる請願書

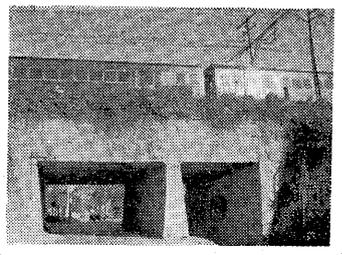
私達の芦屋市は、文化住宅都市であり、他都市に誇り得る特徴ある立派な都市であると自負しておりますが、誠に遺憾なことに、本市の三分の二が山地であり、現市街地は僅かに全面積の三分の一に過ぎない現状では、市の発展も全う飽和の状態であると考え、本市のこのままの発展を願う私達は前途に一抹の不安を抱いておりました。幸いにも昨年度芦屋市有地特売株式会社が発足し、山地開発の糸口が見えられ、心から嬉しく思いました。更に本年に入つて、東山町の老地一七四・五四六平方メートルは市住宅用地の残地を売却する第九十九号議案、第百号議案の昭和三十四年度兵庫県芦屋市歳入

昭和三十三年度決算は
委員長報告どおり認定

センタールを設置することに反対することを兵庫県知事及び兵庫県建設審査会に申し入れ、その用地として芦屋打出共有地の一部を売却しないことを求める請願及び「芦屋打出共有地を財団法人松尾青英会に引き下げる土地売買契約締結議案の採択を中止し、売却の否決を求める請願」が不採択となり、昭和三十四年の市議会は、この第十回定例会をもって終了しました。

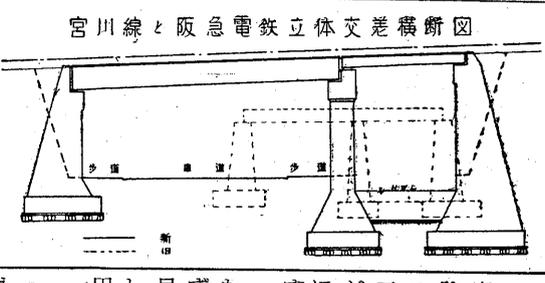
阪急宮川ガードの改修着工 六月には道幅が倍以上に

宮川沿い道路は従来から道幅が狭く通行のみならず不便をおかしてまいりました。特に阪急との立体交差点は、この道路構造も昭和三十三年から、芦屋国際文化住宅都市建設計画の街路事業として着手し、すでに街路用地の一部買収と建物一戸の移転を終わりました。また本年度の工事として、市民のみならず、望まれていた阪急との立体交差の改修を、一月一日に着手し、五月末には完了する予定です。この総工費は三千六百三十四万四千四百四十二円、残り千九百八十七万八千五百七十円を真が負



おしよりの街路となり、交通が円滑になります。図の点線が従来のガードで、その道幅はわずか五、六メートルでしたが、それが道の両側に二、三層の歩道が設けられ、車道部分が九、十メートル、合計三十三、六メートルの幅に広がります。川幅も三、五メートルから五、五メートルに広がります。

バス路線は一時変更
この立体交差工事期間中、阪急バスは駅前通りから真直ぐ東へ上宮川橋を渡り、翠ヶ丘町と親睦家の間の四ツ角を北上し、阿保親王塚、阪急ガードを経て住宅団体の山手線道路を回して従来の宮川沿いバス道に出ます。



国民健康保険
滞納には差押え処分

本市の国民健康保険は「給付内容がよくて（世帯主制給付）保険料が高くない、加入者の役に立つ「国保」を基本方針として、昭和三十四年四月から発足しました。が、各界の皆様のご理解のもとに、その後順調に運営されております。

保険料の徴収状況については、当初予定されていたよりも、すこぶすこぶ好調で、前期分（四月十九日）の調定額八千五百五十万円に對して、一月十日現在八千九百三十三万（九四・七％）を収納済みです。

このことは、加入世帯の皆様が「国民健康保険」をよりよく利用するために、ご協力くださったお陰ですが、五・三％の未納者の方には、昨年末から、国税徴収法の規定に従い、財産の差押え処分を執行してまいります。

「保険料へらぐで差押えま」と

霊園の増設完成
C地区一五七七

市が誇る風光明媚な景勝地霊園の第二期造成工事の一部として、昨年の十月二十日から行なっていたC地区一千四百平方メートルの整地作業は順調に進み一月に完成しました。これが完成して新たに一五七七の墓地使用の申込を二月一日から受け付けましたが、申込者が多数あつてすでに満員に近い状況です。

どなたか
先年末「明るく楽しい平和な家庭づくり」運動を展開して作文並びに標榜を募集しましたところ、五百四十六名が応募があり、関係者を喜ばすやうにあわてさすやうな大変でしたが、なかなか力作ぞろぞろと、作文の特選は本紙第三面に紹介しておりますが、既に二月二十八日付の神戸新聞の家庭欄にも掲載されました。大要は一年生の池田君が家族の生活の様式と家庭のあり方を中心に自分の大好きなお父さんを取り扱って、終にはみんな「お父さん」を呼びかけたというのです。

これに対して、審査員の公民館長は「お父さん」のお父さんは世間では極上の部だとしてお喜びです。さて、お父さんのお父さんは如何でしょうか。明るい楽しい家庭に決して世間から離れたうとする不良青少年は、できないと信じています。本年こそは次代をなす子供達のために折角楽しい家庭をつくっていただきたいものですが、どんなものでも構いません。

国民年金
福祉年金請求を早く

70才以上の方へ
……年12,000円

身体障害者へ
……年18,000円

母子家庭へ
……年12,000円

請求書をまだ提出していない方は、いますぐ市福祉事務所へ提出してください。

国勢調査普及の 標語 募集

期間 3月1日-31日

方法 はがき一枚一題とし末尾に住所氏名、性別、年齢、職業、勤務先を記入、表に「標語」と朱書き

提出先 東京都千代田区三年町五 行政管理庁統計標準局内 財団法人 全国統計協会連合会

表彰と賞金 1等…1点(賞状、賞金5,000円) 2等…2点(賞状、賞金2,000円) 3等…3点(賞状、賞金1,000円) その他

主催 財団法人全国統計協会連合会
お問合せは市役所秘書室広報統計係へ

市民税の申告書は
3月15日までに

縦覧期間は 3月1日-20日

本年一月 入ったとき、一日現在 芦屋市に 居住し昨 年中に所得のあつた方は、無収入、または生活保護受給者等、あるいは必要事項記入欄へ「個人申告書」を提出されずに放置されたら、修正事務がござい、未申告による推定課税等、非常に迷惑をお掛けすることになりますので是非ご協力ください。

申告書の記入について
1、税務署へ確定申告される方はそのまますべて申告書に記入してください。

